

夢や希望の実現のために **自ら動く**

岐阜市立岩野田中学校 学校だより ~7月号~ 2021.7.16



学校HPへ



6/26 (土) 岐阜市少年の主張大会

岐阜市メディアコスモスで開催された少年の主張大会（市青少年育成市民会議・市教育委員会主催）に、学校を代表して3年神谷康太さんが出場しました。



堂々と自分の思いを語る素敵な姿がありました。全校の皆さんには、7/20 (火) に神谷さんの主張を聞いてもらいます。

6/19 (土) 「岩野田を知ろう」

土曜日の教育活動にて「岩野田を知ろう」を行いました。岩野田中出身の岐阜大学教授 山田敏弘先生をお迎えして、私たちの岩野田中学校の歴史と岩野田校区についてたくさんの事を教えて頂きました。山田先生への質問の時間には、たくさんの質問や自分の考えが出されました。岩野田中生の積極さや自分の考えを堂々と話す姿に山田先生は大変感心されていました。



また、本年度第1回目の「学校運営協議会」と「支援推進委員会」を開催しました。学校から今年度の学校経営方針や4月からの生徒の様子についてお伝えしました。また、「岩野田を知ろう」の講話後に、各委員からご意見やご感想を交流しました。

学校、家庭、地域が共に知恵を出し合い、よりよい学校、子どもたちの笑顔があふれる学校をつくりあげていくために、岐阜市の重点を受け、岩野田中学校の学校評価重点項目を設定しました。保護者の方には、アンケートでご協力をいただくこととなります。評価項目を裏面に掲載しますのでご一読ください。

「ねんりんピック」応援横断幕を作成

第33回全国健康福祉祭ぎふ大会「ねんりんピック岐阜 2021」が、令和3年10月30日から開催されます。開催に際し、本校美術部が、ねんりんピック参加のため岐阜を訪れる新潟市の皆さんに向けて横断幕を作成しました。美術部の皆さんの気持ちのこもった横断幕に、新潟市の人たちも喜んでくれると思います。



8/30,31 9月の主な予定 最終下校 17:15

日	曜	週	短縮	部活	主な行事
30	月	A		×	木曜日課 生徒会の日
31	火	A		×	
1	水	A	S	×	命を守る訓練
2	木	A		×	前期期末テスト
3	金	A		×	前期期末テスト
4	土				
5	日				
6	月	B		×	いじめを見逃さない日
7	火	B		○	
8	水	B		○	
9	木	B		○	
10	金	B		○	
11	土				
12	日				
13	月	A		×	
14	火	A		×	水曜日課
15	水	A		×	3年広島大阪研修 2年若狭研修
16	木	A		×	3年広島大阪研修 2年若狭研修
17	金	A		○	
18	土				
19	日				
20	月	B			敬老の日
21	火	B	S	×	心電図検査 (1年)
22	水	B		○	
23	木	B			秋分の日
24	金	B	S	○	
25	土				
26	日				
27	月	A		×	生徒会の日
28	火	A		×	地域清掃打ち合わせ
29	水	A		○	
30	木	A		○	生徒会選挙

夏季休業中もコロナ対策を！

第5波が来ることが強く懸念されています。ご家庭でも、引き続き感染防止対策をお願いいたします。

- 感染防止対策の基本の徹底継続
「距離の確保」「マスクの着用」「手洗い・消毒」
「体調不良時はすべての行動をストップ」
- 毎日の健康チェックの継続を
3年生は高校見学会でも必要になります。
- 外出は必要性和安全性を慎重に検討を
- 「飲食」の際の感染リスクの回避を

生徒あるいは同居の家族など一定の接触がある方のPCR検査の受検が決定した場合は、学校（夜間緊急時対応電話）に連絡をお願いします。

8/3～18は、学校閉庁期間です。

今年度も、岐阜市の小中学校は、8月3日（火）から18日（水）の間、学校閉庁日となります。この期間は、原則として、部活動を行わないだけでなく、日直などの勤務をする教職員を位置付けません。学校閉庁期間中に不慮の事故等、緊急の連絡が必要な場合は、岐阜市教育委員会までお願いします。

岐阜市教育委員会学校指導課 058-214-2193 夜間緊急時対応電話 080-1599-3970



なお、「学割」等の発行を希望される場合は、早めに事務職員に申し込んでください。

令和3年度 学校評価書

市の重点項目	学校の重点項目
全職員や地域コミュニティとの協働による積極的な指導体制を確立し、「チームとしての学校」を実現する	地域との協働活動や体験学習などの実施を通して、地域で生きるという実感を味わうとともに地域が育てる体験活動を推進する。 管理職・いじめ対策監を中心として、よりよい人間関係を育む指導体制を確立する。
学習指導要領の趣旨を十分に踏まえた社会に開かれた教育課程を編成・実施・評価し、教育効果の最大化を図る	自分の考えを深めるためや、学びによって得た知識や技能をさらに深めるために、表現する場の設定を工夫し、「思考力」「判断力」「表現力」を育てていく。新学習指導要領の実施に伴い授業の見直しを進める。 タブレット端末を利用した学習を取り入れ、生徒の多様な学びにつなげる。積極的にICTを活用した学習を取り入れるよう職員研修を実施する。
幼保小連携や小中一貫の考えのもと、ソーシャルキャピタルを活用した学校づくりを推進する	あいさつ運動や「話す・聞く姿勢づくり」を小中一貫で取り組み、生活や学習の基盤づくりを推進する。 学校だより、学校のホームページなどで行事予定や生徒の様子を地域に発信する。
教育環境と学校財務環境を整備・管理し、有効に運用する	生徒にとって必要な掲示の内容を精選するなど、学習に落ち着いて向かう環境を作る。 財務や納入金を適切かつ有効に運用できるように努める。（保護者への説明責任をはたす。）
災害や事故等、多種多様な非常事態に対する安全性の確保をする	安全な学校施設を基盤に、「新型コロナウイルス感染症」の感染防止対策に重点を置き、学校の新しい生活様式を構築する。 自ら生命を守ろうとする意識を育てるための知識や方途を学ぶ場を設定する。 ・命を守る訓練 ・防災学習